

田原市高齢者保健福祉計画の改定概要

1 計画策定の趣旨

将来の高齢者像を見据えながら、今後さらなる進行が予想される高齢化社会への対応と、保健福祉サービスをはじめとする高齢者施策の推進、介護保険事業の充実や円滑な実施を推進するように見直しを行います。

2 計画の期間

平成24年度を初年度とし、平成26年度を目標とする3年を1期とする計画です。

3 日常生活圏域の設定

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、それぞれの地域で高齢者を支える体制の構築が必要です。より円滑な環境整備の実施のため、日常生活圏域を設定し、介護保険サービスなどのサービス基盤の整備や地域における継続的な支援体制の整備に取り組むため市内を4つの生活圏域に分けております。

- ① 田原中学校区
- ② 東部中学校区
- ③ 野田・赤羽根・泉中学校区
- ④ 福江・伊良湖岬中学校区

4 個別事業

① 健康づくりの推進

高齢者が住み慣れた地域で、健やかに暮らし続けるためには日常的な健康づくりが重要です。市では健康診査や各種がん検診のほか、健康教育、訪問指導等を実施しています。また、早期からの介護予防の促進、医療費の助成も行っています。

② 生きがいくりの推進

高齢者が健やかに暮らし続けられることを支援することで、高齢者が地域の担い手として、主体的に社会活動へ参加できる場を提供し、あわせて高齢者の孤立化を防ぎます。市では高齢者の就労支援として、シルバー人材センターの利用促進を支援するとともに、生涯学習、生涯スポーツも推進していきます。

③ 在宅生活支援の充実

高齢者が在宅で自立した生活を送るためには、必要なサービスを利用できる体制づくりが重要です。市では高齢者の多様なニーズに対応するため、要介護認定の有無に関わらず生活支援を受けられる「家事援助サービス」などの市独自のサービスのほか、「人にやさしい住宅リフォーム補助金」など、サービスの充実に努めています。また、

家屋の安全性や住環境の向上にも取り組んでいます。

④ 高齢者施設の充実

在宅での生活が困難な高齢者が安心して暮らし続けられるためには、多様な高齢者施設の整備が重要です。市では養護老人ホームをはじめとして、軽費老人ホームやシルバーハウジングなどの充実に取り組んでいます。

⑤ 地域福祉の推進

高齢者が住み慣れた地域で生活を送るには、高齢者自身や家族はもちろんのこと地域で支え合うことが重要です。地域包括支援センターを中心とした相談業務や、社会福祉協議会や関係団体との連携強化に努めるとともに、今後の福祉の担い手となる介護従事者の育成を、田原福祉専門学校などとの連携により支援していきます。

⑥ 地域包括ケアの充実

高齢者が安心して暮らし続けるためには、介護、医療、予防、生活支援、住まいの5つの取り組みを包括的、継続的に行っていくことが重要です。

そのため地域包括支援センターを中心に、関係機関と連携した、地域におけるネットワークを構築し、地域の高齢者の状況把握を行うとともに、状況に応じた適切なサービスの利用ができるよう支援体制の充実に努めます。

⑦ 介護予防の推進

いつまでも健康でいきいきと暮らすために、健康づくりや社会参加と連動、連携し、要介護状態になることの予防や要介護状態になっても、状態がそれ以上に悪化しないよう、心身の維持・改善をする介護予防を推進します。

⑧ 介護保険の充実

介護保険制度は、介護を社会全体で支える仕組みとして市民生活の中に浸透し、これに伴い介護サービスを利用する人も急激に増加してきました。しかし、サービス利用量の急激な増加は、保険給付費の急速な上昇となり、介護保険料抑制のため、介護予防の推進によるできるだけ自立した生活を送ることができるような支援や介護給付適正化事業が取り組まれて来ました。

本計画は平成22年度・平成23年度の実績値に基づき、平成24年度からのサービス給付費等を推計しています。適切なサービス基盤の整備を図るとともに、関係機関やサービス事業者等に利用状況等の情報提供、サービスの拡充についての働き掛けを行うことにより、サービス量の確保に努めます。